

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 7月11日

【評価実施概要】

事業所番号	2974800126
法人名	株式会社 ハートフルトラスト
事業所名	グループホームかつらぎの里
所在地	奈良県葛城市林堂225-5 (電話)0745-69-5051

評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成 21 年 6 月 29 日

【情報提供票より】(21年6月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 4 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	25 人	常勤 7 人, 非常勤 18 人, 常勤換算 11 人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り
	2 階建て

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(360,000 円)	有りの場合 償却の有無	有(36ヶ月)	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
または1日当たり 1,330円				

(4) 利用者の概要(6月15日現在)

利用者人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名
要介護1	9 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 83.2 歳	最低	65 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	沢田医院
---------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、「つつじ」で有名な葛城山の麓の住宅地の一角に新設・開所されています。玄関前は芝生の植えられた広い庭があり、生活に潤いを与えています。入居者は特技や趣味を活かしながら、自分のペース・リズムで穏やかに生活されています。ホーム内は清掃も行き届き清潔感があり、季節を感じられる環境への工夫がなされています。職員は、個の尊厳を基本に一人ひとりに合った支援に努められています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	行政との連携強化と地域社会との関わりを重視した取り組み及び運営推進会議の活用等への取り組みがなされています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービス評価の意義・目的を正しく認識され、全ての職員参画の下に問題点や改善点等の把握・確認に活かす機会と位置づけ取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議では、入居者の状況や行事の予定・実績の報告と共に、地域密着型としての位置づけや今後の取り組み等について積極的な意見交換がなされ、開陳された意見等を運営に活かす取り組みがなされています。なお、会議の開催回数や行政担当者の参加について、基準省令・貴社運営規定に則り開催されるよう検討する事が望まれます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の訪問時等に、意見や希望・要望等を聞きだす取り組みなされ、寄せられた意見等は職員会議に諮り、検証の上サービスに反映させる仕組みがあります。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会の防災訓練や清掃活動・夏祭り等の地域の行事に積極的に参加され、地域との交流に努められています。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	尊厳の遵守や近隣地域との交流と連携を柱とする理念が作成されています。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定期的な職員会議やワーカー会議で理念の共有化と実践に活かす話し合いがなされています。		より実践に活かすために理念の掲出がなされていますが、形式的になっていると感じます。文字の大きさや簡潔な表現等に工夫し掲出される事を期待します。
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の防災訓練や清掃活動・夏祭り等の地域の行事に積極的に参加され、地域との交流に努められています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく理解され、自己評価の実施に当たっては全職員参画の下に、問題点や改善すべき点等の把握・確認に活かす機会とされています。また、外部評価結果を周知し質の向上に活かす取り組みがあります。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	会議は定期的に開催され、入居者の状況や行事の予定・実績の報告と共に、地域密着型としての位置づけや今後の取り組み等について積極的に意見交換がなされ、開陳された意見等を運営に活かす取り組みがなされています。(地域の防災活動への参加・ボランティアの受け入れ等)		運営推進会議の開催回数や行政担当者の参加について、基準省令・貴社運営規定に則り開催されるよう検討する事が望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	入居者サービスのあり方や各種情報交換等に頻繁に訪問され、行政との連携に努められています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月発行の「ホームだより」に全体の暮らしの様子等を掲載され、加えて一人ひとりの状況を手書きによるメッセージを添え送付されています。また、訪問時にも生活の様子や健康状態等の報告がなされています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時等に、意見や希望・要望等を聞きだす取り組みがなされ、寄せられた意見等は職員会議で検証され、必要な事項はサービスに反映させる仕組みがあります。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者との信頼関係の構築は安定した生活の維持・継続には欠かせない事から、職員の異動時等には、しっかりした引継ぎと他の職員のサポートにより混乱等の防止に努められています。		一部職員の異動等があるようですが、サービスの質の確保の一つは、入居者と職員の馴染みの関係作りにあります。入居者や家族との信頼関係を築くためにも、馴染みの職員が対応することが重要と考えますので、職員の異動を最小限に抑え、入居者へのダメージを最小限にするような配慮が望まれます。
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経験や段階に応じて必要な外部研修の受講機会が確保されています。また、ホーム内での職員育成の一環として、毎月ケアのあり方についてのレポートの提出や意見交換がなされています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者等の幹部職員は、同業者との交流機会が確保されていますが、一般の職員まで至っていない状況にあります。		職員の資質の向上は、サービスの質に深く関わる事であると思量いたしますので、同業者との訪問・交流機会を確保されることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居は、本人の納得を基本である事から、見学時に十分な話し合いや、レクリエーションやおやつの時間帯等を活用し、全体の雰囲気も実感してもらい、安定した移行に努められています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	悩みを聞く、レクリエーションや行事を共に楽しむ、昔話を聞いたり、現代の状況を分かりやすく伝えるなどして関わりを深め、一方的な介護にならない様に注意しながら、思いに共感した支援に努められています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの詳細な生活歴等の把握と暮らしの中の言動を良く観察し、思い等の掌握に努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、より良い暮らしの維持・継続するために、課題の解消やケアのあり方等について作成するものと視点から、家族や関係者が十分相談・検討されています。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画期間は6ヶ月とされていますが、定期的にモニタリングを実施され、必要に応じて関係者で協議し見直しする仕組みがあります。なお、状態に変化が見られる時には、その都度関係者が相談し見直しがなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	かかりつけ医の受診や買い物・一時帰宅時の送迎等に家族の意向を勘案しながら、柔軟な支援が図られています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関が確保されていますが、受診は本人の希望を優先した支援が図られています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期への対応の必要性は十分認識されており、契約時には現時点での対応方針を説明され理解を得られています。しかし、解決すべき課題も多く明確な方針を確立する所まで至っていない状況にあります。		家族にとっても終末期への関心は高いものがありますので、医師等の関係者と十分相談・協議され、対応方針の確立と職員への理解・協力の働きかけを期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者の生活歴等を踏まえ、一人ひとりに敬意をはらいつつ、その言動等に注意し適切な対応を心がけています。また、個人情報に係る記録等は決められた場所で管理・保管されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の生活の流れの設定はありますが、一人ひとりの希望やペースに合わせた支援が図られています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの能力に合わせて、盛り付け・配膳等の食事の準備や後片付け等に協働されています。		当番の職員が同席して入居者と同じ食事を摂り、当番以外の職員は弁当を持参し、同席されていますが、入居者と職員が同じ食卓を囲んで同じものを楽しく食べることの意義を理解し、その実現に向けて検討されることをを期待します。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、週3回を基本とされていますが、希望があれば毎日の入浴支援への体制は確保されています。また、入浴時間は順番制とされていますが、本人の体調や希望を考慮した支援に努められています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の暮らしに生きがいや喜びを実感してもらう為に、特技を活かせる場面や趣味の実践等への取り組みがなされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外気に触れる事から受ける効果等を理解され、周辺の散歩を日常的に取り入れられています。また、近くのスーパーでの買い物等外出機会の確保に努められています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による弊害について正しく認識し、玄関は常に開錠されていますが、安全確保の優先から、門扉は施錠されています。		門扉の施錠は、入居者に心理的な不安や閉塞感をもたらす、家族や地域住民にも閉鎖的なイメージを与えかねないと思料いたしますので、今後の課題として検討される事を期待します。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的な消火・避難訓練が実施されており、緊急連絡網の整備もなされています。また、震災に備えて必要物品の備蓄がなされています。		火災発生時には、周辺住民の応援・協力は不可欠でありますので、体制整備を図られる事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事の摂取量や水分の補給状況は詳細に記録され体調維持への配慮が見られます。また、栄養バランスについては、福祉食材業者のメニューでチェックされています。なお、嚥下能力に応じた調理にも工夫されています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間は明るく清掃が行き届き異臭も無く清潔感があり、ダイニングには入居者手作りの季節を感じられる作品の掲出がなされ、穏やかに過ごせる場所となっています。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>一人ひとりの使い慣れた家具や好みのものが持ち込まれ、安心して過ごせる居室となっています。</p>		